



前期基本計画

基本構想で定める「基本理念」、「みつけの将来像」の実現に向けて重視すべき視点として、以下4つの視点を掲げ、これまでのまちづくりをより発展させるべく、取り組んでいくこととします。

現役・次世代を取り込む魅力の創造・発信（シティプロモーション）

人口減少が進む中、地域の未来を担う若者や子育て世代に「選ばれるまち」であり続けることが、持続可能なまちづくりの鍵となります。首都圏や県内のどこへでもアクセスしやすい見附の立地特性をいかし、見附なら「暮らせる（住・まち）」、「稼げる（産業）」、「こどもを産み育てられる（支援・教育）」環境に磨きをかけていきます。

加えて、結婚・出産・子育てや、その支えとなる経済的豊かさをもたらす企業や雇用環境など、多方面からのアプローチで少子化対策にもつなげていきます。

また、子どもたちが見附を「ふるさと」として誇りに思い、一度は市外や県外へ転出したとしても「戻ってきたい」、「役に立ちたい」と感じられるよう、見附の魅力を磨き続けるとともに、「ふるさと」への愛着や仲間とのつながりを育み、見附市民としての一体感を深めることで見附や仲間とつながり続け、将来、見附に戻ってきたくなる流れを構築していきます。

これらの取組を通じて、見附の魅力を、効果的かつ戦略的に発信して「ファン」を増やし、見附に「住む」、「訪れる」、「貢献する」につなげていきます。



市民の誰一人取り残さない(サステナビリティ)

見附に暮らすすべての市民が、年齢や立場、健康状態、経済状況などにかかわらず、安心して暮らし続けられるまちを目指します。特に、年齢とともに介護や病気のリスクが増加する高齢者、若者の自殺やひきこもり、障がいのある人や病気を持つ人、多様な価値観を持つ人、経済的に困窮する人、様々な環境に身を置くこどもたち、どのような境遇であっても取り残さないことをまちづくりの視点のひとつとします。

また、地球温暖化や近年頻発する地震や豪雨などの自然災害、新型感染症といった将来の不安要素にも備え、市民の不安を少しでも軽減できるよう予防と対策づくりを進めていきます。

SDGsの理念も取り入れながら、一人ひとりの個性が尊重され、多様な人々が支え合いながら共に生きる持続可能な社会を実現していきます。

健やかで幸せな暮らしを支える環境・仕組みづくり(スマートウエルネス)

本市ではこれまで、「住んでいるだけで健やかに幸せに暮らせるまち」を目指す“スマートウエルネス”の取組を進め、全国的にも高い評価を受けてきました。第6次総合計画においても、この理念と取組をしっかりと継承し、市民の健やかな暮らしを実現するまちづくりを継続します。

まちの要所に魅力的な施設を集約し、花と緑あふれる美しい環境の中を、誰もが歩いて移動できる「ウォークアブルシティ」を推進します。高齢者だけでなく、若者や子育て世代、こどもたちまで、すべての世代が家から外に出ることで、健康づくりや人と人との交流、社会参加につながるような環境と仕組みを整えます。

あわせて、望ましい食生活の習慣化や地元産食材を取り入れた食育の推進など、「食」による健康づくりにも取り組みます。

「歩きたくなる」「出かけたくなる」まちを実現し、日々の暮らしそのものが、健やかさと幸せにつながる見附を築いていきます。



あらゆる力を結集する(ソーシャルキャピタル&DX)

本市の強みは、市民団体や地域コミュニティ、企業、学校、NPOなどが連携し、自ら地域課題の解決に取り組んでいる“地域力”の高さにあります。この財産を次世代に継承し、円滑な世代交代を促しながら、地域の力をさらに伸ばしていく必要があります。

また、男女共同参画の推進、若者・女性がその能力を十分に発揮し、あらゆる分野で活躍できる環境づくりに取り組むとともに、高齢者や外部の専門家、見附とつながりのある人、外国人など多様な人材の活躍も推進していきます。

さらに、AIをはじめとするデジタル技術を行政、産業、教育、福祉など幅広い分野において積極的に活用するとともに、人と人とのつながり(ソーシャルキャピタル)を大切にしながら、より豊かで快適な暮らしを実現します。

そして、多様な力を結集し、つなげる要の存在が市役所です。市民や関係者の信頼に応えるためにも、行政組織としてのマネジメント力と、職員一人ひとりの実行力・発信力を高め、協働によるまちづくりを推進します。



第2章

総合計画全体の体系



基本計画	
基本施策	主要施策
(1)見附への移住や関係人口増加に取り組みます	①移住の促進を戦略的に進めます ②関係人口の拡大とつながりの強化に取り組みます
(2)産業が稼げる未来づくりを応援します	①稼げる農林業へのチャレンジを応援します ②安心して農林業ができる環境を整えます ③稼げる商工業へのチャレンジを応援します ④市民の多様な働き方と企業の人材確保を応援します ⑤市内外の産業界が連携した地域ブランドや課題解決を推進します ⑥見附への交流人口拡大と地域経済への寄与度向上を図ります ⑦起業・創業しやすい環境を整えます ⑧企業誘致環境を整え、戦略的な誘致活動を展開します
(3)魅力ある居住や交通環境を整えます	①宅地や住宅を確保できる環境を整えます ②市民や民間力も活用して拠点エリアにおける魅力やにぎわいを高めます ③公共交通などあらゆる力を結集して市内全域での移動利便向上を図ります ④歩きやすいまちづくりを進めます ⑤花と緑など魅力あるまちの景観や空間づくりを進めます ⑥地域コミュニティを核とした持続可能な地域自治活動を支援します
(4)あらゆる力を結集した地域の魅力づくりを推進します	①地域コミュニティを核とした持続可能な地域自治活動を支援します ②社会貢献に積極的な市民活動を後押しします ③多文化交流を推進します ④団体間の連携をサポートし、取組の一体化や効率化を促進します
(1)選ばれる子育て教育環境づくりを進めます	①働きながら育てられる環境整備を進めます ②子育て・出産へのサポートと負担軽減を図ります ③生涯を通して必要となる生きる力の基礎を養います ④子ども子育てでまんなか社会へ、声の把握と機運醸成に取り組みます
(2)こどものたくましく生きていく「生きる力」を育成します	①確かな学力向上を図ります ②見附の未来も見据えた豊かな人間性と社会性の育成を図ります ③健やかな体の育成と体力向上を図ります ④教職員がこどもと向き合う時間の確保を図ります
(3)時代に即した学びの環境づくりに取り組みます	①地域と連携した教育の充実を図ります ②充実した学びの教育環境の整備を進めます ③安全かつ快適な教育環境の整備を進めます ④こどもたち一人ひとりの可能性を開花させる教育や教育環境の充実を図ります
(4)若者に選ばれるまちづくりを進めます	①こどもにとって魅力的なまちづくりを進めます ②若者が地域と交流し、活躍できる場を創出します ③市内高校の魅力づくりを支援します ④見附での結婚を後押しします
(5)ライフステージに応じた学びを支援します	①市民のスポーツ活動を推進します ②市民の芸術・文化活動を支援します ③文化財の保護・活用と情報発信に努めます ④生涯学習を支援します
(1)災害に強いまちづくりを推進します	①自助・共助・公助による災害時の対応力向上を図ります ②地震等に備えた生活基盤の耐震化や安全対策の強化を進めます ③水害時に備えたインフラ整備を進めます ④持続可能な雪対策の充実を図ります ⑤暑さ対策を進めます ⑥原子力災害への備えを進めます
(2)市民が安心して暮らせる環境を整えます	①消防・救急体制の充実を図ります ②火災予防や救急車適正利用などの啓発活動を推進します ③安心安全な暮らしづくりに取り組みます ④危険な空き家等への対策を進めます ⑤上下水道の安全かつ安定利用を維持します ⑥道路等インフラの維持・安全確保を図ります
(3)健やかに暮らし続けられる地域づくりに取り組みます	①こどもから高齢者まで幅広い世代の健康づくりを推進します ②命を大切にし、誰も取り残さない環境とケアを推進します ③地域医療体制の維持・充実を図ります ④高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる地域づくりを進めます ⑤障がい者の福祉の充実を図り、共生社会の実現に向けた取組を推進します ⑥複合的な課題を抱える世帯への支援体制の充実を図ります ⑦多様な考えにも配慮した人権意識の向上を図ります
(4)持続可能な世界に向けて環境問題に取り組みます	①循環型社会を目指した廃棄物発生抑制や処理を推進します ②地球温暖化軽減に向けた取組を推進します
(1)市民に寄り添う行政を展開します	①市民との意見交換ができる機会を継続して設けます ②取組や考えがあらゆる世代に届くような情報発信を展開します ③デジタル技術を活用して市民サービスの向上を図ります
(2)組織と職員力の強化と効率化を図ります	①効率かつ効果的に力を発揮できる組織体制構築と定員管理を行います ②採用から育成・評価まで職員個々の力を伸ばせる環境を整えます ③ワークライフバランスの充実や多様な働き方ができる環境を整えます ④事務事業のありかたの見直しやデジタル技術も活用した効率化を徹底します ⑤事務事業の外部委託や外部人材の活用、広域連携などをより一層模索します
(3)財政体質の改善を図ります	①あらゆる面から歳入増加を図ります ②既存事業の徹底見直しを継続し、歳出削減を図ります ③公共施設や公有財産の最適化を図ります ④適切かつ地域・社会貢献度にも配慮した公共調達を進めます
(4)計画の進行管理と適切な評価を行います	①総合計画の進行管理を行います